

# 決算

令和6年度の町の決算がまとまりました。昨年度1年間、町のお金がどのように使われたのかお知らせします。

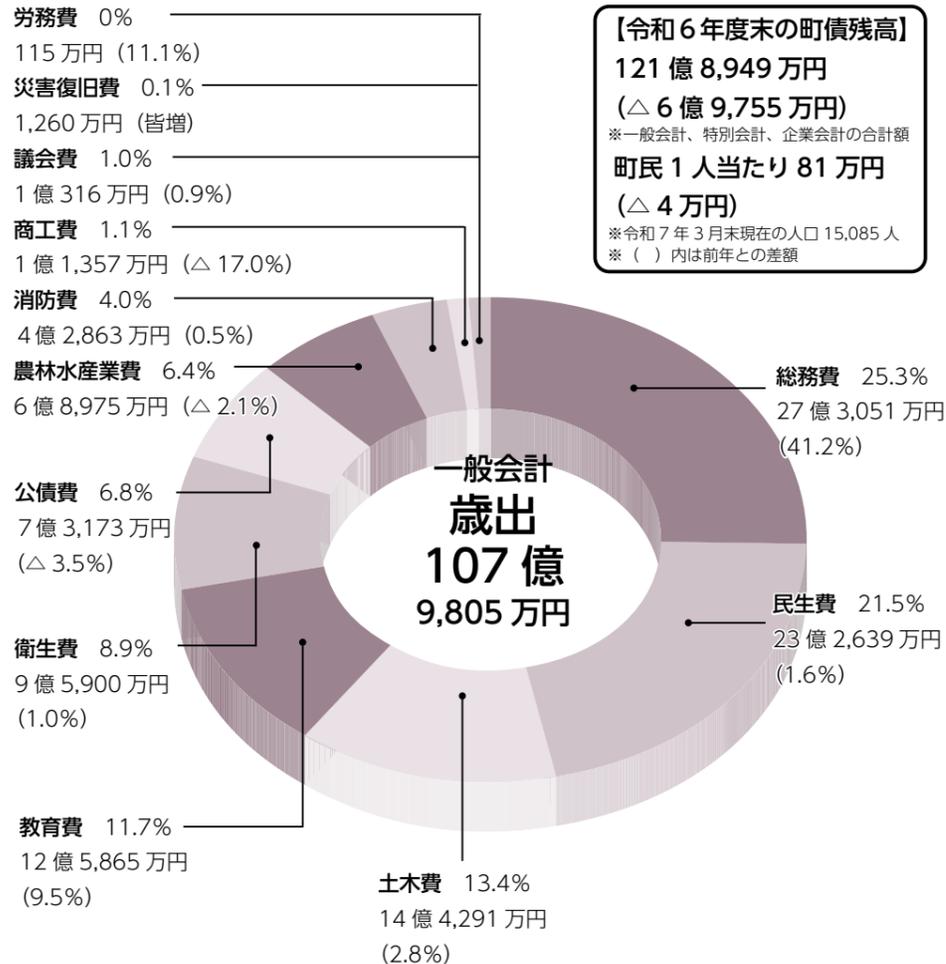
## 令和6年度一般会計 決算の説明

### 【歳入】

- ▶町税…法人町民税、固定資産税の増
- ▶国庫支出金…障害者福祉費負担金及び児童手当交付金等の増、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金等の減
- ▶県支出金…畑地化促進事業土地改良区決済金等支援補助金、地籍調査事業補助金及び多面的機能支払交付金等の増
- ▶地方交付税…普通交付税及び震災復興特別交付税の減
- ▶寄附金…ふるさと応援寄附金の増
- ▶町債…除雪機械導入事業債の減

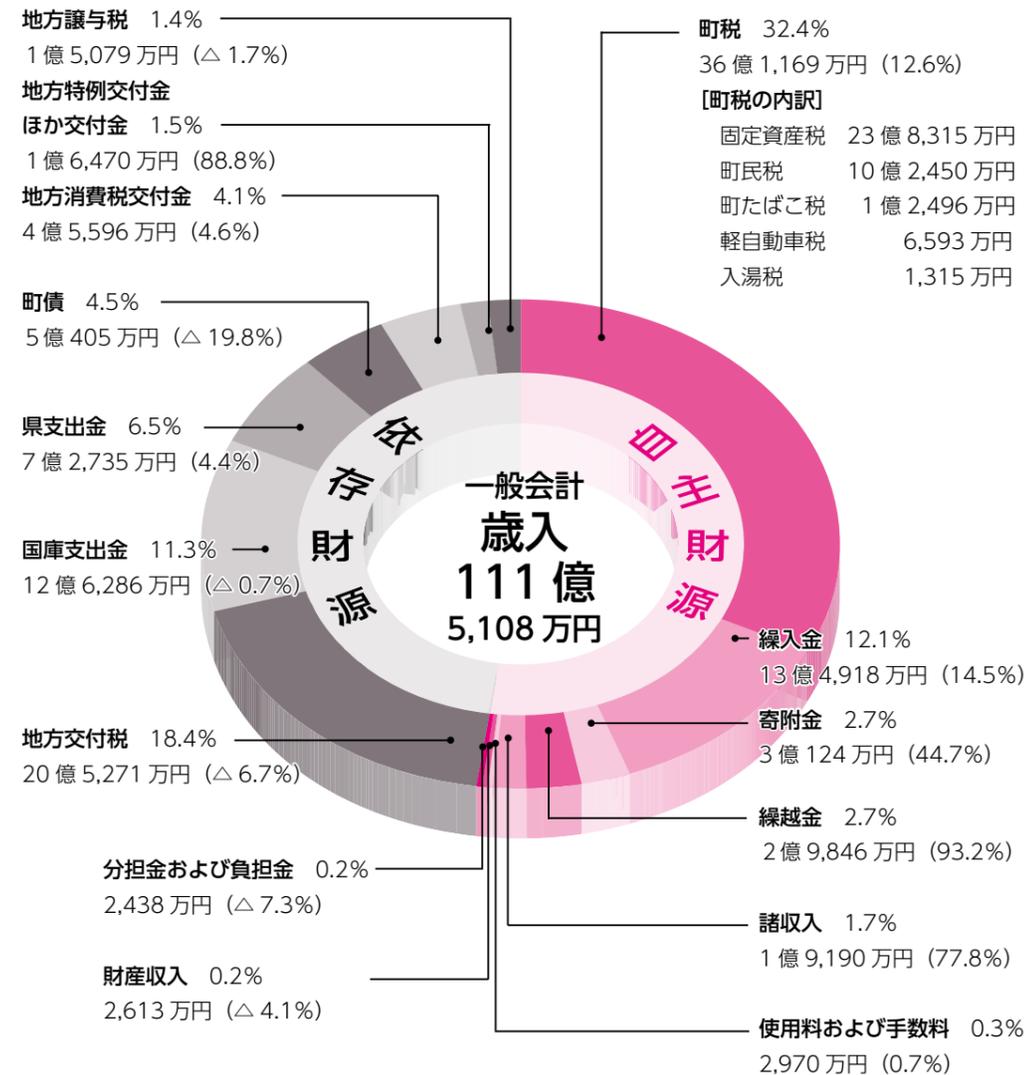
### 【歳出】

- ▶総務費…自治体情報システム標準化・共通化対応業務委託料、財政調整基金等への積立金、ふるさと納税寄附に係る事業費等の増
- ▶民生費…子ども・子育て支援給付費等負担金及び児童手当等の増
- ▶土木費…橋梁補修工事及び町道舗装補修工事等の増
- ▶教育費…電子黒板等の備品購入、中央生涯教育センター大ホール改修工事及び地区生涯教育センター改修工事等の増
- ▶衛生費…国民健康保険診療施設特別会計への繰入金、生活用水確保対策事業補助金及び清掃費に係る奥州金ヶ崎行政事務組合負担金等の増



**【令和6年度末の町債残高】**  
**121億8,949万円**  
 (△6億9,755万円)  
※一般会計、特別会計、企業会計の合計額  
**町民1人当たり81万円**  
 (△4万円)  
※令和7年3月末現在の人口15,085人  
 ※( )内は前年との差額

※各項目で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。  
 ※( )内は前年からの増減率。「皆増」は前年度の支出がなく全額増加したものを。

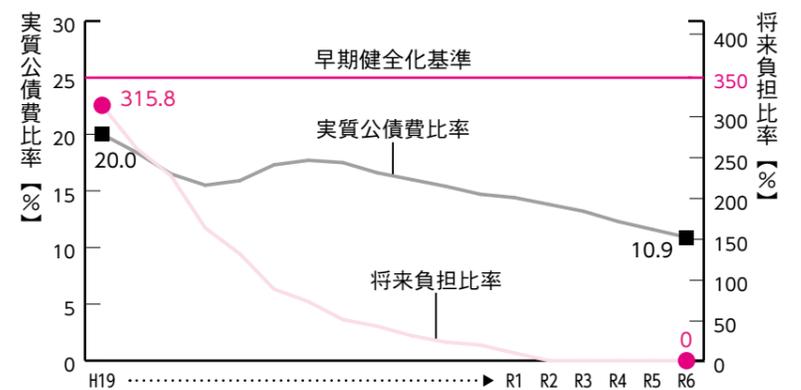


## 町の財政状況 各指標とも早期健全化基準をクリア

自治体の財政状況をチェックし財政破綻を未然に防ぐため、国は平成19年、いわゆる財政健全化法を定めました。この法律では財政指標により自治体の財政状況をチェックし、基準（早期健全化基準など）を上回った自治体には、財政運営にあたりさまざまな制約が課せられます。

町の令和6年度決算に基づく指標は「早期健全化基準」を下回っており、財政状況は健全であると言えますが、高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や施設の老朽化対策など厳しい財政状況が予想されることから、限られた財源を有効に活用しながら財政運営の健全性を維持していく必要があります。

グラフ 主な財政指標の推移



**【用語説明】**  
 ▶**実質公債費比率**…年間の借金返済額が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの過去3年間の平均値  
 ▶**将来負担比率**…現在の借金総額等が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの

## 特別会計・企業会計の決算状況

▶令和6年度特別会計の決算額

特別会計名	歳入	うち一般会計繰入額		歳出
		歳入	歳出	
国民健康保険	12億5,624万円	7,286万円	7,286万円	12億3,965万円
訪問看護ステーション	2,978万円	1,497万円	1,497万円	2,819万円
介護保険	介護保険事業勘定	15億1,932万円	2億2,712万円	14億6,500万円
	介護サービス事業勘定	404万円	61万円	392万円
国民健康保険診療施設	医科勘定	4億396万円	1億6,899万円	3億8,710万円
	歯科勘定	4,694万円	1,414万円	4,266万円
後期高齢者医療	1億7,591万円	4,365万円	4,365万円	1億7,559万円
岩手中部工業団地内工業用地整備	850万円	850万円	850万円	850万円
<b>合計</b>	<b>34億4,469万円</b>	<b>5億5,083万円</b>	<b>5億5,083万円</b>	<b>33億5,062万円</b>

▶令和6年度企業会計の決算額

企業会計名	収入	うち一般会計繰入額		支出
		収入	支出	
水道事業	収益的収支 (税抜)	3億8,841万円	2,557万円	3億5,967万円
	資本的収支 (税込)	438万円	438万円	1億8,440万円
下水道事業	収益的収支 (税抜)	9億5,287万円	4億2,864万円	7億1,593万円
	資本的収支 (税込)	2億7,952万円	2,139万円	7億5,257万円

※資本的収支で収入が支出に対して不足する額については、収益的支出の「減価償却等の非現金支出（損益勘定留保資金）」や前年度からの繰越資金、当年度純利益などで補填しています。